

## DDDLing 若手研究者交流ワークショップ：

### 「ライフイベント、キャリア構築と研究」

#### 参加者募集案内

##### 趣旨説明

大学院生を含む若手研究者をめぐる社会環境は、近年さまざまな変化を見せています。研究者雇用の際してのジェンダーバランスに対する正当な認識はやっと定着し始め、また JSPS の RPD 特別研究員制度に代表される出産や結婚といったライフイベントを経て研究に復帰するための、あるいはそれと並行して研究活動が続けるための制度的な改善も進んでいます。とりわけ、「ホーム」を離れて研究を進めるフィールドワーカーにとって、このことはとても重要な意味を持ちます。一方で、人文科学系のアカデミックポストに多様性が出てきたのもここ数年の傾向です。従来の大学教員や研究機関研究員といったポストのみならず、サイエンス・コミュニケーターに代表されるような、アカデミアと社会との橋渡しを担うポストが生まれているのも昨今のトレンドとあってよいでしょう。このように若手研究者を取り巻く環境には多様な選択肢が広がりつつある一方で、環境の変化について情報や経験を共有し、じっくりと話を聞く機会はこれまであまり提供されてきませんでした。そこで本ワークショップでは、「ライフイベント、キャリア構築と研究」をテーマに、さまざまにキャリアを構築してきた言語学分野の若手研究者をゲストに招き、それぞれの個人的な経験を共有していただくことで、研究をとおしたキャリア構築にはどのような可能性が開かれているのかについて、参加者それぞれが理解を深める場を提供します。

日 時 2024年3月26日（火）13:00–17:00

場 所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）306+Zoom 会議室  
（ハイブリッド）

※Zoom 会議室の URL は、参加者に開催日前日までに連絡します。

##### 話題提供者

青井隼人（東京外国語大学：言語学・音声学／琉球諸島）、安達真弓（AA研：語用論・社会言語学／ベトナム）、大槻知世（静岡英和学院大学：言語学・方言学／津軽・井川）、杓掛沙弥香（東北学院大学：社会言語学・アフリカ地域研究／主にタンザニア）、小林美紀（国立アイヌ民族博物館：アイヌ語・形態論／北海道）

ファシリテーター：品川大輔（AA研：記述言語学／アフリカ）

## プログラム

1. 13:00–13:10 インTRODakション
2. 13:10–13:50 話題提供者によるトーク-1  
(13:50-14:00 休憩)
3. 14:00-15:00 話題提供者によるトーク-2  
(15:00–15:10 休憩)
4. 15:10–16:00 座談会  
(16:00-16:20 休憩)
5. 16:20–17:00 全体ディスカッション

応募資格 言語学を中心とした人文社会科学系の大学院生および若手研究者

参加費 無料

定員 対面参加 20 名程度（オンライン参加に関しては上限なし）

申込先 下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeSP9AVRdDuUPPfjGAjofwFRG6\\_sv-pcftpXAQgZjhwIWEu\\_4A/viewform?usp=pp\\_url](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeSP9AVRdDuUPPfjGAjofwFRG6_sv-pcftpXAQgZjhwIWEu_4A/viewform?usp=pp_url)



申込締切 2024 年 3 月 24 日（日）終日

## 問い合わせ先

「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」事務局

dddling-office[at]tufs.ac.jp（[at]を@に変えて送信してください）

## 共催

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」

東京外国語大学学際研究共創センター（TReND センター）

東京外国語大学多文化共生イノベーション研究育成フェローシップ（MIRAI フェローシップ）